

法学：207-1-DP1

年次	学期	学則科目責任者
1年次	前学期	氏家 宏海 (法学)

学修目標 (G I O) と 単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・単位数：2単位 ・学修目標 (G I O)：本講義では、社会統制の手段である法を、生きた社会との関連の中で捉えるべく、「身近なところに生きているものとしての法」を理解してもらうことを目標とする。そこで、本講義では、とかく抽象的になりがちな「法学に多少でも興味をもって親しみを感じることができるように」するために、できる限り具体的な問題に即して説明を行う。
担当教員	※氏家 宏海
教科書	ポケット六法 森田宏樹・小泉直樹・石川健治 有斐閣
参考図書	法学入門 早川吉尚 有斐閣ストゥディオ
評価方法 (E V)	平常試験 (筆記試験) 50%、授業中・後に出される課題50% 追試は予定していない。 WebClassを利用した課題提出、質問受付等を行う。 講師紹介：東京弁護士会所属弁護士
学生へのメッセージ オフィスアワー	講義では、法学 (法律全般) を可能な限り具体的にわかりやすく説明したいと考えているので、日常生活やテレビ・新聞・ネット等を通じて、普段から法律に興味を持つようにしていただきたい。講義は、配布資料を基に具体事例についての検討等を行う予定である。 なお、教科書として指定したポケット六法 (デイリー六法等でも可) は、授業中、携帯電話等で法律検索ができる場合にはそちらを利用してもよい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/09 (木) 1時限 09:30~11:00 A 2026/04/09 (木) 1時限 09:30~11:00 B	法学を学ぶ意味を学修する	<p>【授業の一般目標】 法学を学ぶことで獲得できる知的能力を知り、社会において必要とされてきた人材を考えることで、法学を学ぶ意味を考える</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 法学を学ぶ意味を理解し、説明できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：ルールのある意義を知る ・準備学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 グループディスカッションを行い、グループごとにプレゼンテーションを行います 法律を学ぶ意義や、生活上、どのようなルールがあるか、なぜそのようなルールがあるかなど検討します</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 204教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	氏家 宏海
2026/04/16 (木) 1時限 09:30~11:00 A 2026/04/16 (木) 1時限 09:30~11:00 B	ルールづくりの意味を知る (ルールの機能と望ましいルールの要件)	<p>【授業の一般目標】 ルールづくりを行い、その機能および望ましいルールの要件を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ルールの機能および望ましいルールの要件について考え、理解することができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：前回の課題について検討し、当日のディスカッションの準備をします。 ・準備学修時間：120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 第1回のテーマについて引き続き、グループワークを行い、その結果をプレゼンテーションします。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 204教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p>	氏家 宏海

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/16 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/04/16 (木) 1時限 09:30～11:00 B	ルールづくりの意味を知る(ルールの機能と望ましいルールの要件)	【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/04/23 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/04/23 (木) 1時限 09:30～11:00 B	ルールづくりの意味を知る(ルールの機能と望ましいルールの要件) (2)	【授業の一般目標】 ルールづくりを行い、その機能および望ましいルールの要件を理解する 【行動目標(SBOs)】 1. ルールの機能および望ましいルールの要件について考え、理解することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 前回の課題について検討し、プレゼンテーションの準備をします。 ・準備学修時間: 120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 第2回のテーマについて引き続き、グループワークを行い、その結果をプレゼンテーションします。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準(主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/05/07 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/07 (木) 1時限 09:30～11:00 B	私法と消費者保護を学修する	【授業の一般目標】 契約自由の原則、私的自治の原則などの私法の基本的な考え方について理解するとともに、企業活動や消費者保護などの経済活動に関する問題が法と深くかかわっていることを認識する 【行動目標(SBOs)】 1. 契約自由の原則、私的自治の原則などの私法の基本的な考え方について理解することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 前回の課題を検討し、身近な消費者問題等について事前に調査を行います。 ・準備学修時間: 120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 グループワークをした上で、ディスカッションをします。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準(主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/05/14 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/14 (木) 1時限 09:30～11:00 B	憲法の意義を理解する(1)	【授業の一般目標】 一人ひとりの人間が、かけがえない存在として相互に尊重されるべきであること及び自律的かつ責任ある主体として自由で公正な社会の運営に参加していく必要があることを認識するとともに、それに必要な資質や能力をはぐむために、個人の尊厳、国民主権あるいは法の支配などの憲法及び法の基礎にある基本的な価値や国と個人との関係の基本的な在り方について、一層理解を深める 【行動目標(SBOs)】 1. 憲法及び法の基礎にある基本的な価値や国と個人との関係の基本的な在り方について理解できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 憲法に目を通しておくこと ・準備学修時間: 120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 グループワーク及びグループディスカッションを行い、結果をプレゼンテーションします。 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 204教室	氏家 宏海

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/14 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/14 (木) 1時限 09:30～11:00 B	憲法の意義を理解する (1)	【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/05/21 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/21 (木) 1時限 09:30～11:00 B	憲法の意義を理解する (2)	【授業の一般目標】 一人ひとりの人間が、かけがえのない存在として相互に尊重されるべきであること及び自律的かつ責任ある主体として自由で公正な社会の運営に参加していく必要があることを認識するとともに、それに必要な資質や能力をはぐくむために、個人の尊厳、国民主権あるいは法の支配などの憲法及び法の基礎にある基本的な価値や国と個人との関係の基本的な在り方について、一層理解を深めること 【行動目標 (SBOs)】 1. 憲法及び法の基礎にある基本的な価値や国と個人との関係の基本的な在り方を理解できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：前回の講義内容を復習しておくこと ・準備学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 グループディスカッションを行い、結果についてプレゼンテーションを行う 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/05/28 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/05/28 (木) 1時限 09:30～11:00 B	司法について学ぶ (民事裁判と刑事裁判) ①	【授業の一般目標】 司法とは、法に基づいて、侵害された権利を救済し、ルール違反に対処することによって、法秩序の維持・形成を図るものであることを認識させるとともに、すべての当事者を対等な地位に置き、公平な第三者が適正な手続を経て公正なルールに基づいて判断を行うという裁判の特質について、理解すること 【行動目標 (SBOs)】 1. 司法の役割を理解し、裁判について説明することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：日常の紛争解決と民事裁判の違いについて検討してくる ・準備学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ディスカッション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/06/04 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/04 (木) 1時限 09:30～11:00 B	司法について学ぶ (民事裁判と刑事裁判) ②	【授業の一般目標】 司法とは、法に基づいて、侵害された権利を救済し、ルール違反に対処することによって、法秩序の維持・形成を図るものであることを認識させるとともに、すべての当事者を対等な地位に置き、公平な第三者が適正な手続を経て公正なルールに基づいて判断を行うという裁判の特質について、理解すること 【行動目標 (SBOs)】 1. 司法について理解し、裁判について説明することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：民事裁判と刑事裁判との違いについて復習すること ・準備学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 グループワーク 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他	氏家 宏海

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/04 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/04 (木) 1時限 09:30～11:00 B	司法について学ぶ (民事裁判と刑事裁判) ②	該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/06/11 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/11 (木) 1時限 09:30～11:00 B	刑法と刑事訴訟法の基礎を学ぶ	【授業の一般目標】 刑法と刑事訴訟法の基礎的なルールを学びます 【行動目標 (SBOs)】 1. 刑法の基本的ルールと刑事訴訟法の流れ及び基本的ルールを知ることができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 民事事件と刑事裁判の違いについて検討してくること ・準備学修時間: 120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 グループディスカッション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/06/18 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/18 (木) 1時限 09:30～11:00 B	刑事裁判について学ぶ	【授業の一般目標】 模擬裁判を通して、刑事裁判手続きの流れと基本的なルールを学ぶ 【行動目標 (SBOs)】 1. 裁判における役割分担や手続きの流れを知ることができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 模擬裁判を通じて刑事裁判の基本的な流れを学ぶ ・準備学修時間: 120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 模擬裁判 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/06/25 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/06/25 (木) 1時限 09:30～11:00 B	刑務所及び刑務所における処遇	【授業の一般目標】 入所受刑者の年齢・構成・罪名別構成比を知り、受刑者の背景について理解することで、社会の課題と刑務所と社会の役割を考えること 【行動目標 (SBOs)】 1. 受刑者の背景を理解し、社会の課題と刑務所と社会の役割を考えることができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 受刑者の背景について触れたニュースなどを調べ、検討すること ・準備学修時間: 120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 ディスカッション 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 204教室 【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海
2026/07/02 (木) 1時限 09:30～11:00	家族法を学修する	【授業の一般目標】 家族法の基本原則、婚姻・離婚、親子 (嫡出子・非嫡出子、親権と後見) を理解する。	氏家 宏海

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
A 2026/07/02 (木) 1時限 09:30～11:00 B	家族法を学修する	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 家族法の基本原則、婚姻と離婚、親子 (嫡出子・非嫡出子、親権と後見) を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 憲法24条、民法731条から837条までを読んでおくこと ・準備学修時間: 120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 204教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	氏家 宏海
2026/07/09 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/07/09 (木) 1時限 09:30～11:00 B	相続制度を学修する	<p>【授業の一般目標】 相続制度の概要 (遺言、遺留分、相続人、遺産分割) を理解し、説明することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 遺言、遺留分、相続人、遺産分割等を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 民法877条から882条、887条～890条、900条、915条を読んでおくこと ・準備学修時間: 120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 204教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	氏家 宏海
2026/07/16 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/07/16 (木) 1時限 09:30～11:00 B	成年後見制度について学修する	<p>【授業の一般目標】 成年後見制度について理解し、それを取り巻く社会的問題について理解するとともに、エンディングノートについて考えることができる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 成年後見制度について理解し、それを取り巻く社会的問題について理解できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: エンディングノートを作成する準備をすること※事前配布資料あり ・準備学修時間: 120分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 204教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	氏家 宏海
2026/08/20 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/08/20 (木) 1時限 09:30～11:00 B	これまでの授業内容の理解度を確認する。	<p>【授業の一般目標】 これまでの授業における学修項目の理解度を確認すること。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. これまでの授業における学修項目の理解度を前提に、項目相互の関連性を踏まえた説明ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: これまでの授業で配布したレジュメを参考に、これまで学んだことの復習をしておくこと</p>	氏家 宏海

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/08/20 (木) 1時限 09:30～11:00 A 2026/08/20 (木) 1時限 09:30～11:00 B	これまでの授業内容の理解度を確認する。	・準備学修時間：120分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 204教室 【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし 【コアカリキュラム】	氏家 宏海